

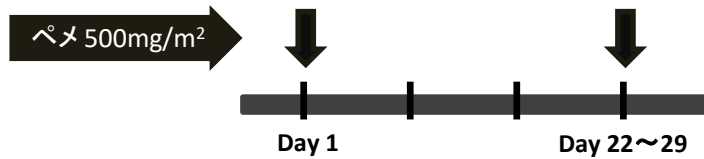
ペムトレキセド +GD療法

PVCフリー
フィルターなし
催吐リスク:軽度

細胞障害性分類
ペメ:非壊死起因性

レジメン概要

投与は3~4週毎とする。
初回投与の1週以上前から最終投与後22日目までの間、
パンプタン末1g/day 連続内服する。また、VB₁₂(シアノコバラミン)を9週毎に筋注する。
単剤療法の他に維持療法としても使用される。



処方

Day 1

Rp 01 点滴静注
生食 50mL1V
* ルートキープ 残廃棄可 10mL/h

Rp 02 点滴静注
グラニセトロンバック1袋
デキサート注3.3mg
750mL/h

Rp 03 点滴静注
生食 100mL1V
ペムトレキセド 500mg/m² 800mL/h

Rp 04 点滴静注
生食 50mL1V
* 流し ポンプ外してクレンメ全開
終了後、抜去